

2018年6月予定

木練 7日・21日 せせらぎ健当番 さきと 木練健当番 ゆうと

月日	曜日	カテゴリ	時間	場所	内容	備考
6月2日	土	全カテゴリー	13:00	せせらぎG	通常練習	
6月3日	日	U-12		せせらぎG	ホップリーグ戦	対和歌浦・砂山、宮前
		その他	9:00	せせらぎG	通常練習	
6月9日	土	全カテゴリー	13:00	せせらぎG	通常練習	
6月10日	日	U-12		四箇郷G	ホップリーグ戦 最終節	対四ヶ郷
		その他	9:00	せせらぎG	通常練習	
6月16日	土	U-10		堺J-GREEN	関西ジュニアサッカー大会U-10	主催：FCグラシオン
		その他	13:00	せせらぎG	通常練習	
6月17日	日	U-10		堺J-GREEN	関西ジュニアサッカー大会U-10	
		U-9		せせらぎG	セレソンカップ U-9	
		U-12		せせらぎG	トレーニングマッチ予定	
6月23日	土	U-10		鎌田小学校	FC-Anilloカップ U-10	
		その他	13:00	せせらぎG	通常練習	
6月24日	日	U-12		橿原G	奈良YMCAカップ U-12	
		U-10		奈良	FC-Anilloカップ U-10 決勝T	
		その他	9:00	せせらぎG	通常練習	
6月30日	土	全カテゴリー	13:00	せせらぎG	通常練習	
7月1日	日				トレーニングマッチ予定	

連絡

【2018年7月以降の主な予定】

- ・ 07月07日・ 08日 京都長岡京SCカップ U-11 会場：堺J-Green
- ・ 07月07日・ 08日 紀州フェスティバル U-10 会場：南紀田辺スポーツパーク
- ・ 07月14日・ 15日・ 16日 貴志川ほたるカップ U-11 会場：桃源郷陸上競技場
- ・ 07月21日・ 22日 奈良三郷やんちゃカップ U-10
- ・ 07月28日・ 29日 兵庫県伊丹市招待大会 U-12
- ・ 08月04日・ 05日 夏合宿 3年生～6年生 会場：せせらぎG
- ・ 08月12日 AOカップ U-12 堺J-Green
- ・ 08月18日・ 19日 チャンピオンカップ U-12 64チーム参加
- ・ 08月18日・ 19日 和歌山カップ U-12 会場：せせらぎG
- ・ 09月01日・ 02日 大阪市スポ少U-10大会 グランド：舞洲 48チーム参加
- ・ 09月08日・ 09日 関西ジュニアU-11大会 FCグラシオン主催 会場：ポスコヴィラ
- ・ 10月07日・ 08日 関西ジュニアU-09大会 FCグラシオン主催 会場：ポスコヴィラ

お願い

【代表監督より皆さんへ】

◆再度ご確認ください。

選手の成長には、個人差があります。選抜の選考など指導者の見方も個人差があります。一喜一憂しないようにお願いします。特にトレセン選出については、選考者が何を基準で選考しているのか同じ指導者でも理解しがたい時もあります。どうか長い目で子供の成長を見守ってあげて下さい。

◆新年度のチーム指導方針（**チーム全員の共通認識を求めます**）

何事にも苦しい時に逃げない力、リバウンドメンタリティーをあげていきます。
選手には、自分で「判断」「決断」「実行」「責任をとれる選手」になってもらうべく指導していきます。
指導者や人の話をよく聴ける「傾聴力」をつけてもらいます。
自分の考えをまわりの人に認めてもらうように「主張力」をあげていけるように導いていきます。
技術面では、全カテゴリーで「奪う」をテーマに「失敗を恐れない」「失敗の後の対応に対して指導」していきます。
基本からひとつひとつ積み上げていく1年にしたいと思います。
保護者の皆さん、「人へのリスペクト」思いやりを家庭でも教えてあげて下さい。うまくなくても続けていけば必ずうまくなっていきます。一喜一憂しないように願います。
指導者の皆さん、もういちど初心にかえり一人の指導者で試合・練習・大会など完遂できるようにひとりひとりのレベルを上げていければと思います。私も全てを完遂して少しでも選手のサポートできるようにしていきます。
全員でボールを「奪い」「超高速カウンター」、状況に応じて運攻・ポゼッションなど「自由なストリート戦術」でセレソンのサッカースタイルを確立していきます。

【三位一体についての理解をお願いします】

指導者・・・たえず勉強を怠らずどうすれば個人・チームの改善ができるのか考え・実践し実績を積み上げ環境をよくする。
選手・・・いつも前向きに練習に取り組み判断・決断し反省を素直にできる。勇敢な選手へ努力を惜しまない
保護者・・・たえず選手・チームのサポートを積極的におこない、選手がのびのび成長できる環境をつくっていく。
後援会・・・指導者・保護者などチーム（選手）を直接サポートする方たちの後方支援をおこなう。チームサポーターである
※今、チーム（選手）の環境をよくする為、本当の意味で三位一体の力の結集が必要です。何をしてくれるのか！
何をしたのか！全員が積極的に関心を持ち参加することで壁を乗り越える事ができると思います。